

# 水稻の病害虫（トビイロウンカ、いもち病、コブノメイガ）に注意しましょう！

令和2年7月30日

## トビイロウンカ（秋ウンカ）

昨年、県内各地でトビイロウンカによる坪枯れが多発し甚大な被害となりました。

今年は昨年よりも早く、7月21日に注意報が出ています。7月上旬に飛来したトビイロウンカの防除適期は**8月21～31日**と予測されます。防除適期を外さないよう、計画的に薬剤散布をしましょう。トビイロウンカは株元に生育しますので、防除を行う際は**薬剤が株元まで届くように散布しましょう。**

## いもち病

イネ葉いもち発生予測システム(BLASTAM)において、葉いもち病の発生しやすい好適条件が、6月中旬から何度も発現しています。

葉いもちは穂いもちの伝染源となります。葉いもちの発生を最小限に抑えることが重要です。圃場を見まわり、早期防除を行いましょう。

## コブノメイガ

コブノメイガの発生も報告されています。白い葉が目立つ、葉が筒状になっている、小さい蛾がたくさん飛んでいる場合はコブノメイガが発生していると考えられます。

液剤での防除は、コブノメイガの若齢幼虫に効果があります。**成虫（小さい蛾）がたくさん見られる時期から約一週間後が防除適期です。**



コブノメイガ幼虫

薬剤名	適用病害虫名	使用時期	10aあたり 使用液量	希釈倍率
ダブルカットトレボン フロアブル	<b>いもち病</b> 、もみ枯細菌病、 内穎褐変病、カメムシ類、 <b>ウンカ類</b> 、 ツマグロヨコバイ、 <b>コブノメイガ</b>	穂揃い期 まで	60～ 200 L	1000倍
スタークル液剤10	<b>ウンカ類</b> 、 カメムシ類、 ツマグロヨコバイ	収穫 7日前 まで	60～ 150 L	1000倍
ブラシンバリダ フロアブル	<b>いもち病</b> 、 紋枯病、 ごま葉枯病	収穫 14日前 まで	60～ 150 L	1000倍
トレボン乳剤	<b>ウンカ類</b>		60～ 150 L	1000～ 2000倍
	<b>コブノメイガ</b>		60～ 150 L	1000倍
MR.ジョーカーEW	<b>ウンカ類</b> 、ツマグロヨコバイ、 カメムシ類、イナゴ類、 <b>コブノメイガ</b> 、 フタオビコヤガ		60～ 150 L	2000倍

※使用前はラベルをよく読み、使用時期、使用方法を守って散布しましょう。